

Serendipity

家政学部長 飯島俊郎

私達の現在の日常生活に欠くことのできない様々な道具、機械、薬品などの歴史をたどると意外な起源に行き当たることがある。そして科学史に残る多くの輝かしい成果が、その研究の当初から意図した結果と言うよりも、偶然や発想の転換によって得られた例が多いことが判る。言い換えれば、科学は新知識を求めて、計画され整備された研究の積み重ねによって推し進められてきたとばかりは言えない。化学の分野に例をとっても予期しない方向に研究が展開して、教科書にも必ず書かれるような重要な成果が得られた場合が極めて多い。

L. Pasteur の血清の発見、W. H. Perkin の合成染料第一号モウベインの発見、I. Langmuir のガス入り電球の発明、A. Fleming のペニシリンの発見などがよく例に引かれる。赤紫の色素モウベインはマラリヤの特効薬であるキニーネの化学合成を目的として研究を進めてゆく過程で、偶然に反応器の中に出来た物質であった。それが始まりで、次々に染料の化学合成が行われるようになり、私達の衣生活を文字通り多彩なものにしている。

抗生物質ペニシリンの発見は青かび penicillium によって培養器が不注意にも汚れていたことにはじまるという。それが、第二次世界大戦、とくにその終結の仕方に大きな影響を与えた英国の大政治家 Winston L. S. Churchill の重症の肺炎を救ったといわれるから、しくじりも世界史に大きな結果を残すことになる。問題は、研究の過程で予期しない結果、しくじりと言ってもよいであろう結果を、発想を変えて即座に見直して、とらえ発展させる能力にかかっているのであろう。

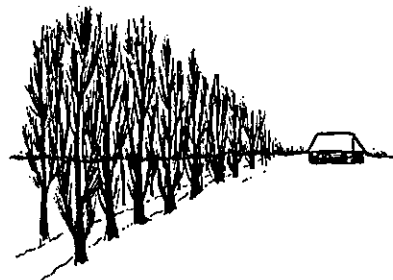
serendipity という言葉がある。Oxford 辞典によれば、イギリスの作家、随筆家 Horace Walpole (1717 ~ 97) が書いた The Three Princes of Serendip 「三人のセイロンの王子たち」に由来する言葉であるという。Serendip

はアラビア語でセイロン（スリランカ）のことを指す。この主人公が優れた勘で偶然にも、探してもいない貴重な宝ものを見付けるといふおとぎ話の筋からの造語である。手元にある研究社の中辞典にも「思わぬものを偶然発見する才能、掘り出し上手」とある。

図書館で調べ物をしていて、探している資料とは全く関係がないが、非常に興味を引く本や文献を見付けて興奮するくらい嬉しくなることがある。それが自分の専門とは遥かに掛け離れていると一層新鮮である。

最近、情報過多ということもあって、key words による情報のコンピューター検索がある。活用すれば便利ではあるが、抄録誌を丹念に追って探し、たどり着いた文献をノートに手書きで写し取った世代の私には、いささか味気無い。書架の本の匂いに埋まってゆっくり宝探しをするのも嬉しいものである。

本学所蔵 Horace Walpole の著作
オトランドの城 井出弘之訳 国書刊行会
1983年 (938-7-27)
The works of Horace Walpole, Earl of
Orford. 5V. G. G. and J. Robinson, Pater-
noster-Row, And J. Edwards 1798
(823.6-W21)





沢地久枝

「雪はよごれていた」(日本放送出版協会)

食物学科 三浦 洋

わたくしがこれまで最もよく本を読んだのは仕事に関する専門書を除けば、身体をこわして一年間休学した中学(旧制)三年生の時でした。病床にあったのは、せいぜい二か月くらいで、あとは専らうまいものを食べているだけの生活でしたので、読書に専念できました。本はほとんどが文学書関連のものですが、とくに感銘を受けたものは一冊に特定できません。丁度感受性の強い、多感な年ごろでしたので、その後のわたくしの人生に対する見方、考え方に大変な影響を与えており、読書三昧に過ごした一年間の留年は決して無駄ではなかったというのが実感です。

昭和11年に二・二六事件がおきました。そのとき、わたくしは地方におりましたが、やはりこちらでも雪で、休学中とあってずっと家でラジオにかじりつき、大変なことになったと刻々入ってくるニュースを不安な気持ちで聞いていたことを今でもはっきりと覚えています。とくに、有名になった香椎戒厳軍司令官の「兵に告ぐ」というラジオの放送は強く印象に残っています。わが国はこれを契機に言論の自由が急速に失われ、軍国主義に傾斜していき、ついに大東亜戦争への突入から敗戦へと移っていきます。わたくしたちの世代はこうして人生のうち一番大事な青春時代を死をみつめつつ、暗い気持ちで送らざるを得ませんでした。その端緒がこの二・二六事件ですので、生涯の忘れ得ない事件です。

最近沢地久枝著「昭和史の謎、二・二六事件最後の秘録：雪はよごれていた」は特設軍法会議の主席検察官匂坂春平氏の未発表資料を中心にまとめたもので、鎮圧すべき責任者の香椎戒厳軍司令官が叛徒のシンパであるなど、真実はかなり複雑で、これまで「誰も知らなかったこと、想像もできなかったことが闇にぬりこめられて存在したこと」が明らかにされています。

その事実に驚くとともに、膨大な資料をコンピュータで処理し、まとめられた著者の努力に感銘を受けました。同時にこのこと(だけでないかもしれませんが)から、青春時代を無為にされたことに大きな憤りを覚えます。

なお、この書を読みながら、わたくしたちの現実の行動のなかにも、不十分な認識のもとに、事実に対する適正な判断を誤り、真実とかけ離れた結論に導くことがままあることについては、大いに自戒すべきことであると感じた次第です。

- 本学所蔵 二・二六事件関連資料
 二・二六事件「昭和維新」の思想と行動
 高橋正衛著 中央公論社 1981年(080-C64)
 二・二六の礎 安藤輝三 奥田敏一著 芙蓉書房 1985年(289.1-A47)
 二・二六青春群像 須山幸雄著 芙蓉書房 1984年(210.7-Su 89)
 雪はよごれていた—昭和史の謎、二・二六事件最後の秘録— 沢地久枝著 日本放送出版協会 1988年(210.7-Sa 93)





雑誌・紀要の探し方 1

本学に所蔵しているかどうか、雑誌・紀要の目録を引いて調べてください。目録にはカード目録と冊子体目録があります。雑誌は誌名の、紀要は大学名のアルファベットで引くことができます。

実践女子大学雑誌目録=1983年現在の所蔵
カード目録も引く

今年度新規購入雑誌=リストがあるのでカウンターで聞く

配架場所

新刊雑誌（今年の方）=閲覧コーナーの雑誌架に並んでいます

バックナンバー（去年までの分）=製本されると雑誌書庫に移されます

大学図書館

和雑誌→分野別（地下2階）

洋雑誌→誌名のABC順（地下1階）

紀要→大学名のABC順（地下2階）

短期大学図書館（電動書庫）

雑誌→分野別

紀要→大学名のABC順

本学に所蔵していない資料

所蔵を調べる目録類があります。所蔵館がわかれば複写や閲覧の依頼もできます。本学にない資料の利用は事前の手続きが必要なので、レファレンス・カウンターに相談してください。

※所蔵を調べる目録

学術雑誌総合目録と文編/欧米編

国立国会図書館所蔵国内逐次刊行物目録

外国逐次刊行物目録

東京都立中央図書館・日比谷図書館

新聞・雑誌目録

国文学研究資料館蔵逐次刊行物目録

明治新聞雑誌文庫所蔵雑誌目録/新聞目録

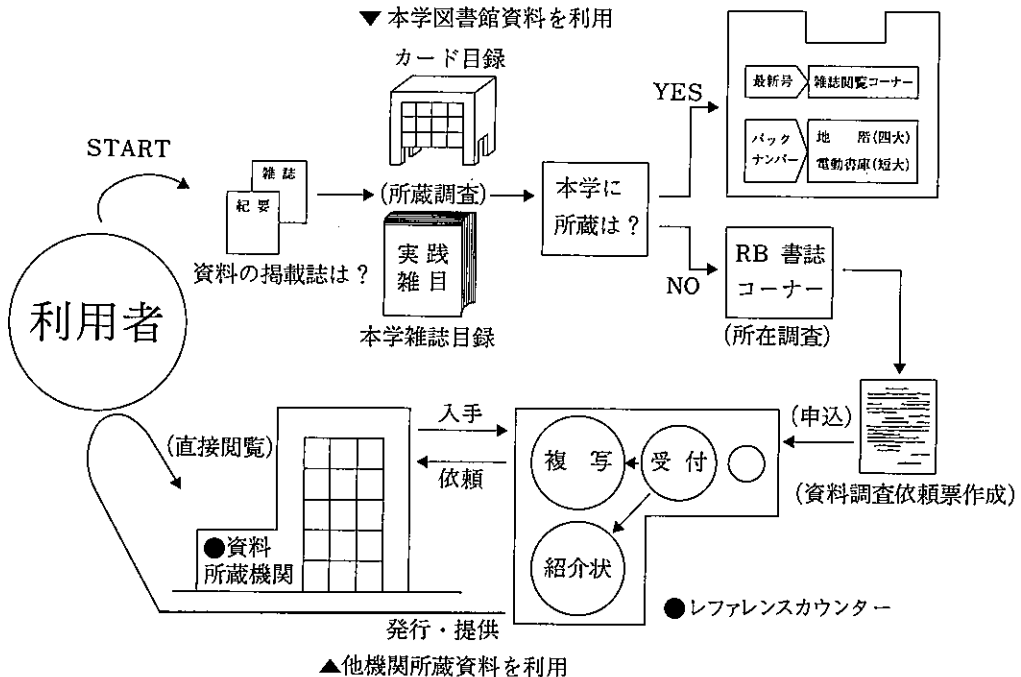
国立民族学博物館学術雑誌目録

中国文雑誌・新聞総合目録

日本科学技術関係逐次刊行物目録

医学雑誌総合目録国内雑誌編/外国雑誌編

JICST 資料所蔵目録



短期大学図書館

4月の新館オープンを機に、視聴覚サービスを開始しましたが、個人ブースの利用は、連日大盛況です。AV視聴室も授業やグループで、利用されています。新着のソフトは、新着書案内で紹介していますのでご覧ください。

1990年上半期視聴ベスト

館内利用

ビデオカセット

1. 愛と青春の旅立ち
2. ローマの休日
3. バック・トゥ・ザ・フューチャー
4. ティファニーで朝食を
5. フラッシュ・ダンス
6. 風と共に去りぬ

ビデオディスク (LD)

1. 哀愁
2. シェルブールの雨傘
3. 禁じられた遊び
4. 独裁者
5. アッシャー家の惨劇
6. 殺人狂時代
7. NHK 地球大紀行1

驚異の小宇宙・人体5

録音ディスク (CD)

1. ポピュラー・ヒットパレード2 ラ・バンバ他
2. チャイコフスキー「眠りの森の美女」他
3. ポピュラー・ヒットパレード6 スタンド・バイ・ミー他
4. ポピュラー・ヒットパレード1 ダイアナ他
5. ポピュラー・ヒットパレード15 ゴッド・ファーザー愛のテーマ他
6. 禁じられた遊び/ギター小品名曲集
7. オペラ・アリア名曲集

館外貸出

ビデオカセット (著作権処理済のみ)

1. 理由なき反抗
2. 嵐が丘
クレイマー・クレイマー
4. エデンの東
カサブランカ
眺めのいい部屋
7. 或る夜の出来事
シベールの日曜日
スタンド・バイ・ミー

※リクエストを受付けています。

図書館の仕事〈5〉

目録の記述について

目録という図書館ではカードに書かれて抽出に入れられたものを思い浮かべるようです。目録は本学図書館では書名、著者名、分類の三種類がケースに入れられていますが、その他に冊子体の蔵書目録があります。どちらも必要な事項で満たされていますが、カード形式の方がより多くの情報を持っています。“書名”には本書名 (title proper) と副書名 (sub title) があり通常はタイトルページに書かれたとおりに記入します。副書名は書名に続けて書かれています。“著者名”は出版物の知的・芸術的な内容の創造に関与した人物または団体という定義がありますが、編者・訳者・画家なども副次的

な著者として扱われます。“出版事項”は出版地、出版者、出版年のことで、これが不明のときは印刷地と印刷者名を書き図書の識別をします。目録規則では出版社ではなく者を使います。つぎは“対照事項”といってページ数や冊数、図版の枚数のほかその本の大きさを示します。大きさはA5、B4などの表示ではなくcmを用います。図書の形態的特徴を知ることのできる箇所です。このほか“叢書注記”“一般注記”といってシリーズ名も書きますし、その他に参考文献、肖像、付図、付帯資料なども記載されます。あの小さなカードに数百字の情報が詰っており、多様な利用ができるようになっています。

ブック★ストック

—蔵書ガイド—

黒川文庫 本学が所蔵する特殊コレクションの一つで、その内容は物語、随筆を主とした写本、版本などの蔵書である。黒川家は春村、真頼、真道と続き、蔵書はその三代によって収集されたものである。黒川文庫について書かれたものはいくつかあるが、詳細な記述は『黒川文庫』永田清一著（「実践女子大学文学部紀要」第23集 昭和56年3月刊）によって知ることができる。また『黒川真頼伝』黒川真道著（奈良書店 昭和54年改訂版）、『蔵書印黒川真頼・真道』戸澤幾子著（「国立国会図書館月報」351号 平成2年6月刊）の二点は小冊子ではあるが参考にするによい。ほかには『黒川真頼家蔵書目録影印』（「実践女子大学文学部資料研究所年報」第8号 平成2年3月刊）に連載され、巻末に若干の解題が付されている。

黒川文庫は、いくつかの図書館に所蔵され、各々の所から黒川本の目録が出版されている。これについては前途の「年報」第9号（平成2年3月刊）に紹介されているが、新しく見つけた目録があるのでここに付記しておく。

『国語研究室所蔵黒川文庫目録 その一（あ〜こ）』（「国語研究室」第5号 東大国語研究室 昭和41年2月刊）、謄写版刷りの出版物で五十音順に配列された目録である。内容は辞書、語学を中心に一括購入された323点が掲載されている。これに続く目録を調査したが、目にすることができなかった。

本学図書館が入手した黒川本は『黒川文庫目録 実践女子大学図書館所蔵』（昭和42年刊）に300点、1,377冊が所収されている。また、その後に入手したものが16点、903冊あるので本稿に書き留めておく。この蔵書の内容は、中古物語、随筆、説話、お伽草子、近世小説、官職、地誌・地図、雑形などが含まれている。個々の資料についてみると、伊勢物語、大和物語、宇津保物語、源氏物語、栄花物語などが目につき、ほかに十訓抄、古今著聞集、職原抄、蝦夷絵図、烏帽子雑形という書名を見ることができる。前

述の黒川文庫目録に未掲出の16点について“追補”として記すので留意されたい。

黒川文庫目録追補

- 狭衣 古活字版 4冊 元和中期頃刊 文化10年源道別校合
- 狭衣下紐 版本 1冊 零本 承応3年刊
- 枕草子 版本 7冊 慶安2年刊 京都・沢田庄左エ門 外題・清少納言
- 撰集抄 嵯峨本 3冊（9巻） 慶長頃刊
- 有職懐中抄 写本 1冊（5巻）
- 小説精言 岡白駒著 版本 1冊（4巻） 宝暦4年刊 寛保癸亥序 ※巻5欠
- 礼儀類典 写本 341冊 天保6年刊 ※510巻中、105巻欠
- 史籍集覧 67冊 明治26～31年刊 ※複本2冊を含む
- 碩鼠漫筆 黒川春村自筆 16冊（15巻） 安政6年 高橋広道序
- けいせい柏の大黒天 写本 1冊 絵入 正徳3年八文字屋刊の写し
- 黒川真頼家蔵書目録
 - 色葉書目 稿本 7冊（天・地・人）
 - 書籍目録 稿本 8冊（天・地・人）
 - 金石図書目録 稿本 1冊
 - 源氏物語湖月抄 版本 59冊 天保13年 橘守部識語
 - 古今著聞集 橘成季著 写本 5冊（20巻） 元禄12年刊

特殊コレクションの中には和装本や年代の古い数の少ない図書があるので、閲覧に当っては慎重であって欲しい。特に手を洗い鉛筆を使うことや、頁を丁寧に繰って破損させないことなどを心掛けることである。また、図書館の内に飲食物や濡れた傘を持込まないことも、利用する側のマナーとして必須の事なのである。どうか資料を長く持たせ、快適な利用ができるようお願いものである。 (S)

Library Mail

— 収書ガイド —

日本語教育ハンドブック 日本語教育学会（大修館書店 1990年）

国内における日本語学習者の大半は大学進学の子供教育としてで、全体の44%を超えている。国内の日本語教師は約7,000人で女子はその70%以上だという。本書では実地教育上の問題点、指導上の留意点に重点をおいて編さんされており、教室作業の準備や直接有効な知識の指針を提供するものだとしている。

古代都市ローマ 青柳正規著（中央公論美術出版 1990年）

内容は古代都市ローマの歴史の変遷、古代都市ローマの地誌学、フォルム・ロマネム、広場、神殿、凱旋門、トラヤヌス記念柱、カラカラ浴場、劇場と円形闘技場の8章から成る。

本書の一部は1977年から1981年にかけて『SPAZIO』誌に掲載した論考の再録だが、近年のこの分野における進歩が目覚ましいので、大幅な書き換えと新資料の挿入を行って今日的水準に達するようにしている。

巻末に、青銅器時代後期と鉄器時代のラツィオ文化、古代都市ローマ年表、文献と略号、口絵・挿図リスト、初出一覧、索引と用語解説が付されている。

図書館ハンドブック第5版 図書館ハンドブック編集委員会編（日本図書館協会 1990年）

13年ぶりの改版である。特に図書館における実務上の問題は勿論のこと、各種技術の実際や応用面にはこの13年に大きな変革をもたらせた。当時Japan/MARCはまだ開発中であり、今ではCD-ROMが実用として用いられるまでになっている。総論、図書館サービス、図書館資料、資料の組織化、図書館員、組織と運営、図書館協力とネットワーク、施設、資料（参考文献、関係法規・基準、年表ほか）、索引（和文・欧文）の内容をもっている。図書館と技術革新、著作権法と複製サービス、ニューメディアの利用・情報検索、MARCなどの項に注意したい。

食品衛生小六法 平成2年版 厚生省生活衛生局食品保健課乳肉衛生課食品化学課監修（新日本法規出版 1990年）

最近の多品種少量生産は商品価値を高め、購買欲をそゝらされた。一方、有害物質の混入、農薬の残留、食品添加物や表示に対する課題も残されている。本書は食品関係者にとどまらず一般消費者にも広く活用され、食品保健行政の理解に資する意図のもとに編さんされている。内容は食品衛生法とこれに付随する法令に関するものや、栄養改善、消費者保護、環境衛生関係営業の法律。食品衛生法の施行・運用に関するものを法体系に準じ分類整理している。

百花譜百選 太田正雄著（岩波書店 1990年）

美しい本である。ここに写されている草花はすべて著者の生活範囲の中でのものである。著者の医学博士太田正雄は詩人で劇作家でもある木下空太郎である。晩年の二年余の間に植物写生は872枚を残しているが、太平洋戦争の最も激しい空襲の頃、夜の寸暇に鉛筆をとったという。植物の種類733種、図譜872枚におよぶが、これから百図を選び出したものである。図は写生年月日、採集所、通し番号、植物名とその学名のほか、その日の出来事、戦況、感想を記したのものもある。

海の幸・山の幸大百科 第3巻果実・穀物・豆・肉（ぎょうせい 1990年）

食品素材の解説書である。食品素材のそれぞれについて、生物学、歴史文化、食品学、栄養学のほか、生産・流通に関する知識や調理加工、保存法などの実用知識を総合的にまとめている。目次をひろくと果物・種実、ナッツ類、輸入果物、野山の果実、穀物・豆、肉・卵、狩猟肉、スープ、虫、調味料の頃が見られる。巻末に調理用具図鑑、調理用語事典と全3巻の素材名総索引がある。なお、第1巻魚介・海藻、第2巻野菜・山菜・きのこも所蔵している。

※※※いんふお-め-しょん※※※

1990年12月～1991年3月

大学図書館

開館時間

月～金 9:00～18:00 土 9:00～16:00

冬期休業期間 9:00～16:00

休館日

冬期休業期間 12/26(金)～1/6(日) 1/10(木)

入試期間 2/6(水)～11(月)

蔵書点検期間 2/12(火)～4/5(金)

試験期の貸出

1/7 (月)～14(月) →16(木)返却

1/16(水)～2/1(金)→1日貸出

※返却＝翌日午前中

2/2 (土)～4(月) →5(火)返却

特別貸出

卒論・修論(家政学部)

期間 12/1(土)～1/31(木)

冊数 10冊

冬休み

期間 12/13(木)～1/16(水)

冊数 5冊

卒業予定のみなさんへ

みなさんが利用した図書は、これからも多くの後輩が利用しますので、卒業までに必ず返却して下さい。

編集後記

4月に編集委員のうち2人が交替しました。新メンバーになって2回目の発行になります第5号は『家政学』をテーマにしてみました。

これからも図書館と利用者の方のみなさんのかけ橋となるような館報をめざしてゆきたいと思っています。

新しい企画や特集も組んでみたいと考えていますので希望やアイデアなどありましたら、是非お知らせ下さい。

短期大学図書館

開館時間

月～金 9:00～17:00 土 9:00～16:00

試験期 月～金 9:00～17:45 (1/11～25)

冬・春期休業期間 9:00～16:00

休館日

冬期休業期間 12/26(水)～1/10(木)

入試・蔵書点検期間 2/6(水)～3/2(土)

3/9・16(土)

3/20(水)～4/5(金)

試験期の貸出

1/11(金)・12(土)・14(月)→18(金)返却

1/16(水)～31(木)→1日貸出

※返却＝翌日午前中

特別貸出

冬休み

期間 12/13(木)～1/16(水)

冊数 5冊

春休み

期間 2/1(金)～4/11(木) ※2年生=3/18(月)

冊数 5冊

※予定の変更・詳細は、その都度掲示でお知らせします。新学期は4/6(土)より開館の予定です。



Library Mate 第5号 1990年12月

発行所 実践女子大学図書館

東京都日野市大坂上4-1-1

実践女子大学図書館短期大学分室

東京都日野市神明1-13-1

発行責任者 宮澤文雄